

I. 活断層で発生する地震の発生確率値の更新前後の比較(算定基準日 令和5年(2023年)1月1日)

	2022年1月1日時点の評価	2023年1月1日時点の評価
<b>石狩低地東縁(主部)</b>	Zランク	Zランク
100年	ほぼ0%-0.002%	ほぼ0%-0.003%
300年	ほぼ0%-1% (ほぼ0%-1.4%)	ほぼ0%-2% (ほぼ0%-1.5%)
<b>濃尾(温見/北西部)</b>	Zランク	Zランク
経過率	0.05-0.06	0.06
<b>養老-桑名-四日市</b>	Aランク	Aランク
30年	ほぼ0%-0.7%	ほぼ0%-0.8%
<b>三方-花折(三方)</b>	Zランク	Zランク
経過率	0.06-0.09	0.06-0.1
<b>中央構造線(豊予海峡-由布院区間)</b>	Zランク	Zランク
300年	ほぼ0%-0.05%	0.001%-0.05%

- Sランク(高い): 30年以内の地震発生確率が3%以上
- Aランク(やや高い): 30年以内の地震発生確率が0.1~3%未満
- Zランク: 30年以内の地震発生確率が0.1%未満
- Xランク: 地震発生確率が不明(過去の地震データが少ないため、確率の評価が困難)

算定基準日における地震後経過率が0.7以上である活断層については、ランクに「\*」を付記する。  
Zランクでも、活断層が存在すること自体、当該地域で大きな地震が発生する可能性を示す。

※活断層評価備考

- ・ここに掲載しているものは、再計算等の結果、発生確率値の表記に変更のあったものである。
- ・確率値は、有効数字1桁で記述している。ただし、30年確率が10%台の場合は2桁で記述する。
- ・括弧「( )」の値は、参考値として確率の計算値を表したものである。この値は有効数字1桁(または2桁)で示す確率値より、下位の桁の値を含んでいる。

II. 海溝型地震の発生確率値の更新前後の比較(算定基準日 令和5年(2023年)1月1日)

	2022年1月1日時点の評価	2023年1月1日時点の評価
<b>子島海溝</b>	III * ランク	III * ランク
超巨大地震(17世紀型) (M8.8程度以上)		
平均発生間隔	約340年~380年	
経過率	1.01~1.19	1.02~1.19
10年	2%~10%	2%~10%
20年	5%~30%	5%~30%
30年	7%~40%	7%~40%
40年	9%~50%	9%~50%
50年	10%~60%	10%~60%
100年	20%~80%	20%~80%
300年	40%~90%程度以上	40%~90%程度以上
<b>十勝沖 (M8.0~M8.6程度)</b>	II ランク	II ランク
平均発生間隔	80.3年	
ばらつき $\alpha$	0.38	
経過率	0.23	0.24
10年	0.3%	0.4%
20年	3%	4%
	(3.2%)	(3.8%)
30年	10%程度	10%程度
40年	20%程度 (24%)	30%程度 (26%)
50年	40%程度	40%程度
100年	90%程度	90%程度
300年	90%程度以上	90%程度以上
<b>根室沖 (M7.8~M8.5程度)</b>	III * ランク	III * ランク
平均発生間隔	65.1年	
ばらつき $\alpha$	0.22	
経過率	0.75	0.76
10年	30%程度	30%程度
20年	60%程度	60%程度
30年	80%程度	80%程度
40年	90%程度	90%程度
50年	90%程度以上	90%程度以上
100年	90%程度以上	90%程度以上
300年	90%程度以上	90%程度以上

- IIIランク(高い): 30年以内の地震発生確率が26%以上
  - IIランク(やや高い): 30年以内の地震発生確率が3~26%未満
  - Iランク: 30年以内の地震発生確率が3%未満
  - Xランク: 地震発生確率が不明(過去の地震データが少ないため、確率の評価が困難)
- 算定基準日における地震後経過率が0.7以上である海溝型地震については、ランクに「\*」を付記する。

	2022年1月1日時点の評価	2023年1月1日時点の評価
<b>日本海溝</b>	I ランク	I ランク
超巨大地震(M9.0程度)		
平均発生間隔	約550-600年	
経過率	0.02	0.02
10年	ほぼ0%	ほぼ0%
20年	ほぼ0%	ほぼ0%
30年	ほぼ0%	ほぼ0%
40年	ほぼ0%	ほぼ0%
50年	ほぼ0%	ほぼ0%
100年	ほぼ0%	ほぼ0%
300年	ほぼ0%-5%	ほぼ0%-5%
<b>青森県東方沖及び 岩手県沖北部(M7.9程度)</b>	III ランク	III ランク
発生間隔	97.0年	
ばらつき $\alpha$	0.11-0.24	
経過率	0.55	0.56
10年	0.007%-4%	0.01%-5%
20年	0.7%-10%	1%-20%
	(0.7%-14%)	(1.0%-15%)
30年	10%-30%	10%-30%
40年	40%-50%	40%-50%
50年	70%程度 (65%-74%)	70%-80% (67%-77%)
100年	90%程度以上	90%程度以上
300年	90%程度以上	90%程度以上
<b>宮城県沖の陸寄りの地震 (M7.4前後)</b>	III ランク	III ランク
発生間隔	38.0年	
ばらつき $\alpha$	0.1-0.24	
経過率	0.28	0.31
10年	ほぼ0%-0.7%	ほぼ0%-1%
20年	2%-20%	4%-30%
	(2.0%-22%)	(4.1%-26%)
30年	70%-80%	70%-80%
40年	90%程度もしくはそれ以上	90%程度もしくはそれ以上
50年	90%程度以上	90%程度以上
100年	90%程度以上	90%程度以上
300年	90%程度以上	90%程度以上

相模トラフ	2022年1月1日時点の評価	2023年1月1日時点の評価
次のM8クラス	IIランク	
平均発生間隔	180-590年	0.17-0.55
経過率	0.17-0.55	0.17-0.55
10年	ほぼ0%-2%	ほぼ0%-2%
20年	ほぼ0%-4%	ほぼ0%-4%
30年	ほぼ0%-6%	ほぼ0%-6%
40年	ほぼ0%-8%	ほぼ0%-8%
50年	ほぼ0%-10%	ほぼ0%-10%
100年	ほぼ0%-30%	ほぼ0%-30%
300年	ほぼ0%-80%	ほぼ0%-80%

南海トラフ	2022年1月1日時点の評価	2023年1月1日時点の評価
M8～M9クラス	III*ランク	
平均発生間隔	88.2年	
ばらつき $\alpha$	0.20-0.24	
経過率	0.86	0.87
10年	30%程度	30%程度
20年	50%-60% (54%-60%)	60%程度 (55%-61%)
30年	70%-80%	70%-80%
40年	90%程度	90%程度
50年	90%程度もしくはそれ以上	90%程度もしくはそれ以上
100年	90%程度以上	90%程度以上
300年	90%程度以上	90%程度以上

日本海東縁部	2022年1月1日時点の評価	2023年1月1日時点の評価
北海道北西沖(M7.8程度)	Iランク	
平均発生間隔	3900年程度	
ばらつき $\alpha$	0.17-0.24	
経過率	0.54	0.54
10年	0.002%-0.04%	0.002%-0.04%
20年	0.004%-0.07%	0.004%-0.07%
30年	0.006%-0.1%	0.006%-0.1%
40年	0.008%-0.2%	0.008%-0.2%
50年	0.01%-0.2%	0.01%-0.2%
100年	0.03%-0.4%	0.03%-0.4%
300年	0.2%-2%	0.2%-2%
北海道西方沖(M7.8前後)	Iランク	
平均発生間隔	1400-3900年程度	
ばらつき $\alpha$	0.17-0.24	
経過率	0.02-0.06	0.02-0.06
10年	ほぼ0%	ほぼ0%
20年	ほぼ0%	ほぼ0%
30年	ほぼ0%	ほぼ0%
40年	ほぼ0%	ほぼ0%
50年	ほぼ0%	ほぼ0%
100年	ほぼ0%	ほぼ0%
300年	ほぼ0%	ほぼ0%
北海道南西沖(M7.5前後)	Iランク	
平均発生間隔	500-1400年程度	
ばらつき $\alpha$	0.17-0.24	
経過率	0.02-0.06	0.02-0.06
10年	ほぼ0%	ほぼ0%
20年	ほぼ0%	ほぼ0%
30年	ほぼ0%	ほぼ0%
40年	ほぼ0%	ほぼ0%
50年	ほぼ0%	ほぼ0%
100年	ほぼ0%	ほぼ0%
300年	ほぼ0%-5%	ほぼ0%-5%

日本海東縁部	2022年1月1日時点の評価	2023年1月1日時点の評価
青森県西方沖(M7.7前後)	Iランク	
平均発生間隔	500-1400年程度	
ばらつき $\alpha$	0.17-0.24	
経過率	0.03-0.08	0.03-0.08
10年	ほぼ0%	ほぼ0%
20年	ほぼ0%	ほぼ0%
30年	ほぼ0%	ほぼ0%
40年	ほぼ0%	ほぼ0%
50年	ほぼ0%	ほぼ0%
100年	ほぼ0%	ほぼ0%
300年	ほぼ0%-6%	ほぼ0%-6%
山形県沖(M7.7前後)	Iランク	
平均発生間隔	1000年程度以上	
ばらつき $\alpha$	0.17-0.24	
経過率	0.19以下	0.19以下
10年	ほぼ0%	ほぼ0%
20年	ほぼ0%	ほぼ0%
30年	ほぼ0%	ほぼ0%
40年	ほぼ0%	ほぼ0%
50年	ほぼ0%	ほぼ0%
100年	ほぼ0%	ほぼ0%
300年	0.001%-0.2%	0.001%-0.2%
新潟県北部沖(M7.5前後)	Iランク	
平均発生間隔	1000年程度以上	
ばらつき $\alpha$	0.17-0.24	
経過率	0.06以下	0.06以下
10年	ほぼ0%	ほぼ0%
20年	ほぼ0%	ほぼ0%
30年	ほぼ0%	ほぼ0%
40年	ほぼ0%	ほぼ0%
50年	ほぼ0%	ほぼ0%
100年	ほぼ0%	ほぼ0%
300年	ほぼ0%	ほぼ0%

※海溝型地震備考

- ここに掲載しているものは、再計算を行ったもの全てである。
- 水色で示した箇所が、再計算の結果、表記に変更のあったものである。
- 確率値は、有効数字1桁で記述している。
- 括弧「( )」の値は、参考値として確率の計算値を表したものである。この値は有効数字1桁で示す確率値より、下位の桁の値を含んでいる。